生涯学習推進センター　研修講座

■■■　総合教育センターとの連携講座　■■■

教職員の皆様が、地域の皆様とともに学び、視野を広げ、さらに充実した学校教育活動ができるよう、総合教育センターとの連携講座を４講座開設しました。

【公立学校の教職員】

・申込み・お問合せ先　　長野県総合教育センター

・申込方法　　P4　２希望研修（２）「申込みについて」参照

【私立学校の教職員】

概ね１カ月前にホームページに掲載する講座案内（チラシ）をご覧ください。

・申込み・お問合せ先　　長野県生涯学習推進センター　　電話 0263-53-8822　FAX 0263-53-8825

・申込方法　所定の申込書をＦＡＸ、E-mail、郵送、または当センターＨＰの「ながの電子申請サービス」にて。

※申込書はＨＰからダウンロードできます。

なお、開始時間は 9 時 45 分、午後開催の場合は 13 時 15 分となります。

長野県生涯学習推進センター　連携講座

講座番号・講座名	実施日	内容、連絡等
3-9-01-01 【会場受講】 3-9-01-02 【オンライン受講】 子どもが見るネット端末の世界	6月17日（金） 【オンライン研修】 午後開催	GIGAスクール構想による1人1台端末環境となり、子どもとネットは切っても切れない関係となっています。便利なツールである一方、依存症などの健康被害やネットトラブルといった問題が懸念されています。子どものネット端末の安心・安全な活用を支援するために、私たち大人ができることを学びます。 講義・演習「子どもが見るネット端末の世界」 講師　静岡大学教育学部　准教授　塩田　真吾 質疑応答 ■講師はオンラインとなります。会場にはお越しになりません。 ■持ち物　特になし
3-9-02-01 【会場受講】 3-9-02-02 【オンライン受講】 子どもの不安をケアする	9月28日（水） 【ハイブリッド研修】	子どもが抱える心の問題の深刻さが、さまざまな形で報告されています。この講座では、子育て支援のための認知行動療法を専門とする講師をお招きし、幼児期から思春期までの不安や緊張が高い子への支援、また、怒りをコントロールしストレスに負けない心と体について、講義と演習を通して学びます。 講義　「子どもの不安の理解とアセスメント」 演習　「子どものための認知行動療法入門」 講師　信州大学教育学部　准教授　高橋　史 質疑応答 ■受講方法は会場かオンラインです。どちらかを選んでください。 ■持ち物　特になし
3-9-03-01 【会場受講】 3-9-03-02 【オンライン受講】 地域と学校で取り組むSDGs	10月11日（火） 【ハイブリッド研修】	地球的規模の環境問題など世界が直面する課題解決のためには、私たちひとりひとりの理解と身近なところからの行動が必要です。ESD(持続可能な開発のための教育)やSDGs(持続可能な開発目標)の理念や内容を学び、これからの学校教育や社会教育の場面で、私たちが「持続可能な社会」実現のためにできることを考えます。 講義「2030に向けたESD/SDGsの広がり（仮）」 ワークショップ　「SDGs達成に向けて私たちにできること」（仮） 講師　信州大学学術研究院人文社会科学域教育学系 准教授　安達　仁美 事例発表　長野県富士見高等学校養蜂部・松本市寿地区学校応援団 ワークショップ「SDGs達成に向けて私たちにできること（仮）」 講師　安達　仁美 質疑応答 ■受講方法は会場かオンラインです。どちらかを選んでください。 ■持ち物　特になし
3-9-04-01 【会場受講】 3-9-04-02 【オンライン受講】 令和時代の”学校を核とした地域づくり”	12月12日（月） 【ハイブリッド研修】 午後開催	人口急減・超高齢化に対し、地域の特徴を活かした持続可能な社会の実現を目指しています。この講座では魅力ある教育による地域創生に従事する岩本悠氏と望ましい教育制度のあり方をデザインする荒井英治郎氏との対談等から、これからの学校と地域が連携・協働した取組や地域資源を生かした教育活動を進める上でのポイントについて考えます。 対談「未来志向で考えるこれからの“学校を核とした地域づくり”」 講師　一般財団法人　地域・教育魅力化プラットフォーム 代表理事　岩本　悠 講師　国立大学法人信州大学　教職支援センター 准教授　荒井　英治郎 意見交換会 ■受講方法は会場かオンラインです。どちらかを選んでください。 ■持ち物　特になし

地域社会と連携・協働	目標実現に向け、柔軟に対応する力	「教育のプロ」としての高度な知識や技能		
		学習指導	生徒指導	現代的な諸課題への対応
3-9-01-01	③ ④ ⑤ ⑥	⑧	⑪	⑫
3-9-02-01	③ ④ ⑤ ⑥		⑩ ⑪	⑬
3-9-03-01	① ②	④		⑥
3-9-04-01	① ②	④		⑥

基礎形成	伸長	充実	次世代育成	希望	幼	小	中	高	特	専	義初	高初	義Ⅱ	高Ⅱ
■■■■■■■■				○										

■■■　総合教育センターとの連携講座以外の生涯学習推進センターの講座　■■■

前ページの連携講座以外の講座にも参加できます。学校や地域・保護者と連携した幅広い研修ができますので、より多くの教職員の皆様の参加をお待ちしています。各講座の詳しい内容は、概ね１ヶ月前にホームページに掲載する講座案内（チラシ）をご覧ください。

・申込み・お問合せ先　　長野県生涯学習推進センター　電話 0263-53-8822　FAX 0263-53-8825
・申込方法　所定の申込書をＦＡＸ、E-mail、郵送、または当センターＨＰの「ながの電子申請サービス」にて。
　　※申込書はＨＰからダウンロードできます。
・会　　場　会場の記載のない講座は、当センター（長野県総合教育センター内）
・開催時間　講座案内（チラシ）をご覧ください。
・持 ち 物　特に記載のない場合はありません。

HP はコチラ→

生涯学習推進センター講座

	講座コード･講座名･選択可能研修種別		実施日	研修の概要･連絡等
地域づくり推進研修	公民館･社会教育･生涯学習入門		6月27日(月) 終日開催	新型コロナの感染拡大は社会的孤立や格差の拡大など社会的な課題が顕在化しており、現代は、仲間とともに学び課題解決の取組につなげる社会教育活動や、社会教育活動の拠点としての公民館の役割が試されている時代です。社会教育・生涯学習・公民館の歴史や活動、役割についての基本的な事柄を学ぶことをねらいとします。 講義「社会教育・生涯学習の基礎」 「公民館入門～歴史と原点を学ぶ」 対談「社会教育の役割と魅力を語る」 「公民館の役割と魅力を語る」 講師　松本大学　総合経営学部　教授　松田　武雄
	募集定員	150名		
	防災！一瞬の判断と備え		7月８日(金) 終日開催	近年、経験したことのない自然災害が全国各地で発生しています。阪神・淡路大震災の体験をもとに、東京大学と連携し最前線の防災研究をされている講師をお招きし、日頃から備えておくべきことや、地域での人と人との繋がりの大切さを考えるとともに、演習を通じて学校を避難所に想定した災害時の対応について学びます。 講義「一瞬の判断と備え～あなたは突発的な自然災害に対処できますか～」 演習・ワークショップ 「学校を避難所に想定した避難所運営ゲームHUG」（基礎編・理論編）・「HUG実践編」・「HUGの振り返り」 講師　兵庫県広域防災センター防災教育担当　田中　健一
	募集定員	120名		
	“ともに生きる”を目指して		8月22日(月) 終日開催	新型コロナの感染拡大は、私たちのくらしに大きな影響を与えています。また、ふだんのくらしのしあわせをつくるための「福祉教育」が注目されています。本講座では諏訪市出身の原田正樹先生をお迎えし、共に生きる力を育むための「福祉教育」の推進について、講義と事例発表等を通して考えます。 講義「“ともに生きる”を目指して」 事例発表（社会福祉と社会教育の立場から） パネルディスカッション 「（仮）コロナ禍の福祉教育をどうすすめる？～今だからこそできること～」 講師　日本福祉大学　社会福祉学部　教授　原田　正樹
	募集定員	80名		
	「人づくり･職場づくり･まちづくり」に生かすグループワーク ～豊かな関係づくりのためのスキルアップ～		10月20日(木) 終日開催	変化のスピードが増す現代社会に求められる「生きる力」を考えましょう。楽しく活動を進める中で表出される自分や仲間の姿に焦点を当て、気づきを起こすことで、“人間｢ジンカン｣”に生きる私たち人間に今必要なコミュニケーション力を人づくり・職場づくり・まちづくりに生かすために磨き合いましょう。 講義・演習「グループワークの中での気づき」 「合意形成（コンセンサス）演習」 講師　日本グループワークトレーニング協会 上級アドバイザー　犬飼 己紀子
	募集定員	40名		
	支援を必要とする子どもたちへの対応 ～｢みんな違ってみんないい｣という社会は実現できるのか？～		11月16日(水) 午後開催	精神疾患の親を持つ子どもの立場であり、自身も精神科に通院した当事者・現在は児童精神科医をしている講師の体験から、支援を必要とする子どもたちへ私たちができることは何かを皆で考えます。 講義「支援を必要とする子どもたちへの対応～『みんな違ってみんないい』という社会は実現できるのか？～」 講師　児童精神科医・医学博士　夏苅　郁子 質疑応答
	募集定員	200名		
	出会いと対話でつながる社会		5月21日(土) 午後開催	現代は少子高齢化やグローバル化、社会構造の変化などを背景に、価値観の多様化が叫ばれ、多様な人と対等に対話するコミュニケーション力が求められています。この講座では、多様性の理解を促すことを目指し活動する志村季世恵さんを講師に、対話によって、老若男女・障がいの有無・出身国や世代の違いを超え、地域社会や職場などで、コミュニケーションを円滑にするために何が大切か、考える機会とします。 講義「出会いと対話でつながる社会」 講師　一般社団法人　ダイアローグ・ジャパン・ソサエティ 代表　志村　季世恵 質疑応答
	募集定員	200名		

生涯学習推進センター講座			
講座コード･講座名･選択可能研修種別		実施日	研修の概要･連絡等
地域づくり推進研修	Withコロナ時代の公民館の在り方を考える	11月25日(金) 終日開催	長野県民にとって公民館は、集い、学び、つながる、地域に身近なよりどころとして、災厄下での助け合いの基盤の役割を果たしてきました。しかし2020年から広がりを見せているコロナ禍の中で、多くの公民館で事業の中止や見直しが行われています。そこでWithコロナ時代の公民館の在り方を改めて考える機会として開催します。 事例発表　長野県公民館活動アワード受賞団体より 講義「Withコロナ時代の公民館の在り方を考える」 座談会「私にとっての公民館、地域にとっての公民館」 講師　西九州大学　教授　上野　景三
	募集定員　100名		
	公民館基礎･社会教育講座 ※要望に応じて追加開催あり	小諸市 5月13日(金) 塩尻市 5月28日(土) 安曇野市 6月13日(月) 上松町 7月9日(土) 茅野市 2月12日(日) 御代田町 7月23日(土) 東御市 9月30日(金) 東御市 10下～11中	生涯学習・社会教育の意義や公民館の果たすべき役割といった公民館の職員として知っておきたい基礎的な知識を学ぶとともに、地域づくりを推進する中心的な役割を担う公民館職員の意識の高揚とスキルアップを図ります。県内各地区で開催して、公民館職員・公民館関係者の地域ネットワークの形成を支援します。 講義・演習・事例発表・情報交換等 講師　長野県生涯学習推進センター公民館支援専門員
	募集定員　各30名		※各会場の内容・参加対象はそれぞれ異なります。開催１カ月前までに掲載されるホームページの講座案内をご覧ください。
	地域づくりの支え手元気アップ講座 【連続講座】	①　千曲市 10月7日(金) ②　塩尻市 11月12日(土) ③　調整中 調整中 ④　調整中 調整中	公民館職員等、地域づくりに関わるみなさんが、コロナ禍においてもできることを考え、地域連携や各種団体との連携を考慮に入れた講座づくりを進めるためのノウハウや方向性を見出し、自らの地域活動や事業につなげます。また、多様な立場の人の話を聞くことによって活動の視野の広がりと、つながりを広げる機会とし、県内各地で開催し４回を予定しています。
	募集定員　各30名		※各会場の内容・参加対象はそれぞれ異なります。開催１カ月前までに掲載されるホームページの講座案内をご覧ください。
	生涯学習推進者実践講座	東信:小諸市 7月4日(月) 南信:飯島町 6月9日(木) 中信:安曇野市 5月15日(日) 北信:長野市 10月6日(木)	「地域づくり」を推進する方々が、自ら取り組もうとする課題の解決に向け、地域との連携・協働、仕組みづくりなど、より具体的で実践的な方法を習得することを目的とします。県内５地区で開催し、身近な地域の課題解決を考えるとともに、受講者が課題の発見から活動の仕組みづくりまでの実践力を身につける研修を行います。
	募集定員　各会場による		※各会場の内容・参加対象はそれぞれ異なります。開催１カ月前までに掲載されるホームページの講座案内をご覧ください。
	生涯学習推進者実践講座 【ぶらっと楽しむまちづくり】 ～茅野市のまちづくりに学ぶ～	6月10日(金) 終日開催	県内各地では特色あるまちづくりが行なわれています。駅に隣接した商業施設に中高生の居場所や子育て中の保護者の相談場所、市役所の出張所などを配し、住民の利便性を考えた茅野市。この講座では、各担当課の職員の案内でまちづくりのノウハウを学ぶとともに、今後の駅周辺の開発構想、御柱についての歴史・伝統など、様々なものをテーマに駅周辺を歩きます。 えきなかウォッチング 講義・現地研修「諏訪神社と御柱祭」 講師　諏訪市中洲公民館　社会教育指導員　関　雅一
	募集定員　30名		
地域の教育力向上研修	子育て支援に関する講座	東信:佐久市 9月3日(土) 南信:南箕輪村 6月19日(日) 中信:松本市 12月14日(水) 北信:千曲市 2月4日(土)	子育て、親育ち、親子の絆、あるいは子育て支援のあり方等について考え合う学習を進め、子どもや若者、家庭を支援するために地域の大人としてできることを考えます。
	募集定員　各50名		※各会場の内容・参加対象はそれぞれ異なります。開催１カ月前までに掲載されるホームページの講座案内をご覧ください。
施設開放	みんなでボッチャ♪	8月20日(土) 午後開催	ニュースポーツとして人気のボッチャは、年齢や性別、障がいの有無を問わず、誰でも気軽に参加できる競技です。昨年度開催されたパラリンピックでも日本選手が活躍したこの競技を体験し、楽しむ機会とします。 ボッチャ体験 講師　長野県体育センター　専門主事
	募集定員　50名		※総合教育センター・生涯学習推進センター　施設開放「チャレンジしののめ塾」の講座として開催します。
	秋のスターウォッチング ～楽しく星を学ぼう～	10月22日(土) 夕方からの開催	普段体験することのできない50cm大望遠鏡での天体観測や、塩尻星の会のみなさんからの星空解説、こども食堂のみなさんの絵本の読み聞かせなど、楽しみながら星空について学習する機会とします。天候が良い場合は、秋の星座や土星の環・木星の縞模様等を観測し、天候が悪い場合は、屋内で観測施設の見学や天体クイズなど、星に関する知識を深めます。 読み聞かせ　こども食堂の皆さん 天体観測（50cm大天体望遠鏡および8cm天体望遠鏡） 講師　「塩尻星の会」のみなさん 総合教育センター　教科教育部　専門主事
	募集定員　60名		・夜間および野外観察に適した服装 ・水筒など飲み物